

アドミッションポリシー (AC)	カリキュラムポリシー (CP)
1. 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得及び探求に意欲のある者 2. 高い専門的知識・技術の習得に必要な基礎的学力を備えている者 3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者 4. 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者 5. 多様な価値観を尊重できる者 6. 論理的に思考し表現・行動できる者	1. 多様な知識、多様な文化や価値観を理解するため、「基礎演習」「自然と人間」「社会と文化」「語学」「学際」から構成する総合基礎教育科目を設置する。「基礎演習」は大学生としての学びの基盤形成を目指し、アカデミックリテラシー（必修）、情報科学・情報リテラシー（必修）、問題解決思考（選択）の3科目を置く。「自然と人間」「社会と文化」「語学」には知的好奇心に基づく選択ができる科目を置く。「学際」には、地元創成に資するため、地元（やまがた）探究（必修）を置く。 2. 専門科目の基盤として必要な人間のこころと身体の機能・構造、保健医療福祉制度等の社会の仕組みを理解する科目を専門基礎科目に設置する。とくに、倫理観に基づく行動に資する生命医療倫理学、連携・協働に資する保健医療論、チーム医療論を必修科目として置く。また、全ての学生が生殖遺伝学、基礎保健学、保健統計学を必修で学ぶ。 3. 看護を実践するための基本となる能力、看護ケアの展開能力を修得する科目を「看護の基盤科目群」「性と成育の看護科目群」「病と加齢の看護科目群」「メンタルとコミュニティヘルスの看護科目群」として設置する。各科目群に看護学の専門領域別の科目を配置し、それを効果的に修得するために概論、方法論等と実習を配置する。 4. 看護実践の中で研鑽する能力を修得する科目として、看護の発展科目群を設置する。そのうち、必修科目で構成される発展看護では、看護を統合的に捉える科目や研究に資する科目を置く。選択科目で構成される看護特論では、多様性や地元創成に資する科目を配置する。 5. 看護師、保健師、助産師それぞれの専門性と、相互の連携協働に関する必修科目を2年次と3年次に配置する。保健師教育、助産師教育はいずれかの選択制とし、保健師選択または助産師選択科目を3年次以降に配置する。

ディプロマポリシー (DP)	1. (看護観) 看護の対象となる人々に関心を寄せ、誠実さと思いやりの態度を身につけ、自己の看護観を表現できる	2. (倫理) 人間の尊厳を理解し、倫理観に基づき責任ある行動がとれる	3. (知識・技術) 根拠に基づいた看護実践能力の基礎を身につけている	4. (協働) 保健医療福祉チームや地元住民など、多様な人々と連携・協働する基礎能力を身につけている	5. (地元創成) 地域の保健医療福祉に関心をもち、看護専門職として人々の健康や生活を向上する意欲をもつ	6. (多様性・柔軟性) 国内外の文化を理解し、多様な観点から健康や生活を考察できる	7. (研鑽) 知的好奇心を持ち、継続的にものごとに取り組み、看護専門職として向上する意欲がある	保健師選択	助産師選択
4年					エンドオブライフケア論				
					母子保健医療システム論	国際看護論		公衆衛生看護活動実習	助産学実習
					ライフサイクル看護連携論			地域看護診断実習	ハイリスク周産期
					総合看護学実習Ⅱ	看護教育学		コミュニティ活動展開論	分娩期助産診断技術学
					総合看護学実習Ⅰ	災害看護・健康危機管理論	卒業研究	公衆衛生看護管理論	産褥期助産診断技術学
					老年看護学実習				
					母性看護学実習				
					精神看護学実習				
					小児看護学実習Ⅱ				
					急性期看護学実習				
					慢性看護学実習				
					訪問看護実習				
					地域包括支援実習				周産期生活支援実習
					小児看護方法論				
					精神看護方法論Ⅱ				
					産褥新生児期看護方法論				
					老年看護方法論				
					在宅看護方法論Ⅱ				
					慢性看護方法論Ⅱ			公衆衛生看護活動論	
					急性期看護方法論Ⅱ			公衆衛生看護活動演習	
							相互理解連携論	ヘルスコミュニケーション論	
					ケアシステム論	まちづくり看護論		産業保健論	助産システム論
					チーム医療論		看護管理学	学校保健論	周産期生活支援学
					精神保健学実習				
					小児看護学実習Ⅰ				
					基礎看護学実習Ⅱ				
					在宅看護方法論Ⅰ				
					精神看護方法論Ⅰ				
					急性期看護方法論Ⅰ				
					妊娠分娩看護方法論				
					リプロダクティブヘルスケア				
					慢性看護方法論Ⅰ				
					在宅看護概論				
					小児看護学概論				
					母性看護学概論				
					老年看護学概論				
					成人看護学概論				
					基礎看護技術論Ⅱ (診療の援助技術)				
					フィジカルアセスメント論				
					看護過程論				
					高次脳機能障がい論	カウンセリング論			
					生殖遺伝学	基礎保健学			
					薬理学	臨床薬理学			
					精神障がい論	免疫と微生物			
					助産プロフェッショナルリズム	小児疾病論	保健医療福祉政策論		
					社会福祉論	成人老年疾病論Ⅲ	公衆衛生看護学概論		
					成人老年疾病論Ⅰ	成人老年疾病論Ⅱ	環境学		
					基礎看護学実習Ⅰ				
					精神看護学概論				
					基礎看護技術論Ⅰ (生活の援助技術)				
					看護理論				
					家族看護学				
					看護人間関係論				
					看護倫理	人間発達学	心理学		
					看護学概論	栄養代謝学			
					生命医療倫理学	病理学	臨床栄養学		
					哲学	生体形態学	生体機能学Ⅰ		
					宗教学	自然科学	自然科学演習		
						保健医療論			
						地元(やまがた)探求Ⅰ			
						地元(やまがた)探求Ⅱ			
							英語論文読解		
							国際保健論		
							文学		
							文化人類学		
							英語プレゼンテーション	研究方法論Ⅰ	
							医療英会話	保健統計学	
							中国語		
							政治学		
							スポーツ学		
							社会学		
							国際関係論		
							経済学		
							韓国語		
							英語表現法Ⅱ	統計学	
							英語Ⅱ	問題解決思考	
							英語表現法Ⅰ	情報科学・情報リテラシー	
							英語Ⅰ	アカデミックリテラシー	